

My City Kawaguchi マイシティかわぐち



11/26(日) 消防団特別点検

神根運動場に380人の消防団員が参集。火災が多発するシーズンに備え、機械器具点検、ポンプ車操法、放水訓練などを実施しました。



12/3(日)

第36回川口マラソン大会

青木町公園総合運動場を会場に開催。市内外から約7,000人のランナーが師走の川口を駆け抜けました。



西川口駅西口



東川口駅南口

12/8(金)～2/14(水)

かわぐち光のファンタジー2017

川口駅周辺、西川口駅西口、東川口駅南口で開催。合計約20万球のグリーンの輝きで、神秘的な光の森に変身しています。
(点灯時間17:00～23:00)



川口駅西口(西公園)



みんなでつくる 川口の元気

vol.39

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、今回は本市の自然環境についてお話したいと思います。

みなさんは子どもの頃、どこでどのような遊びをしていたでしょうか。私は昆虫が大好きで、一日中、チョウやトンボなどを追いかけていました。春や夏はもちろん、冬でも昆虫のさなぎや集団越冬するテントウムシなどを観察したものです。

しかし、最近は虫取りをしている子どもたちの姿を、あまり見かけなくなったように感じます。聞くところによると、昔は男の子なら一度は夢中になったカブトムシも、今は触ったことのない子が増えているそうです。確かに昔は森や原っぱがたくさんありましたが、その減少とともに昆虫のすみかも限られ、今は身近な存在ではないのかもしれない。

とは言え、本市は見沼田んぼや荒川などの河川敷、斜面林などを有しており、都心からわずかな距離に位置しながら、まだ昆虫が生息する雑木林や原っぱなどの自然が残るまちです。

私はこの自然環境を、未来の子どもたちにも残してあげたいと思っています。昆虫はしたたかな生き物で、生息できる条件を整えれば再び戻ってきます。例えば今年4月に一部供用を開始する、イイナパーク川口(赤山歴史自然公園)に整備するクヌギやエノキの森が、カブトムシの生息地となり、自然の状態で観察できる「カブトムシの森」になればいいなあなどと、思いを巡らせているのです。

年頭に私の夢をお話しましたが、今年もどうぞよろしくお願いいたします。



安行原自然の森で遊ぶ子どもたち

川口の自然環境を未来の子どもたちへ

川口市長 奥ノ木信夫



11/19(日) 第11回新郷ふれあい祭り

蓮沼公園で開催。地域交流のためにさまざまなイベントが催され、たくさんのかたが参加しました。



12/1(金)

柳崎小学校PTA
(優良PTA)



12/15(金)

朝日東小学校
放課後子供教室
(朝日東ホッと大夢)

文部科学大臣表彰

児童の成長や地域の活性化のため優秀な功績を上げている団体として、文部科学大臣に表彰されました。



12/8(金)~14(木)

拉致被害者・特定失踪者写真展

12月10~16日の北朝鮮人権侵害問題啓発週間にあわせ、中央図書館で開催。拉致被害者田口八重子さんの写真などを展示し、拉致問題の早期解決を訴えました。